

# 人生壊した日統一協会

安倍晋三元首相が銃撃された事件の山上徹也容疑者（41）＝殺人容疑で逮捕され、母親が日統一協会（世界平和統一家庭連合）の信者で「多額の資材をして破壊させられた」との供述内容が報じられています。全国婦女法対策弁護士連絡会の会員（12日）には、母親が今も日統一協会に入居してくるといふ時代の女性Aさんが出席。眞理やその家族の苦しみを語りました。

（統一協会取材班）

## 本人の意思と違う献金「天国に行けぬ」と脅し

▲さんは、「自尊を守り教化を強要するようななものが頭に母親が入居してつた」と証言しました。「家庭内のことを全てが統一協会の教えに変わり、母はお姉妹私たちも母親の影響で、Aさん、Aさんは21歳のときに

日本で同居するようになってから相手の男性が「気に入らないことがあると殴る人」だと分かりました。男性との間に娘が生まれてからも家庭内暴力は続きました。

Aさんは離婚を考えますが、神を中心とした家庭を築くためなどに統一協会が称する「祝福結婚」を繰り返すなどになると暴力は続きました。

Aさんは、「山上徹也容疑者を擁護する立場では何ひとつない」と口を閉ざす。その行為は決して許されませんが、統一協会に附わってきた人たちや家族の苦しみは理解できる」と語ります。

Aさんは娘を連れで韓国に渡航し、統一協会の「再祝福」を受けて再婚しました。その際には140万円の献金を要求されただけであります。その後、相手の男性が抱えていた問題で「日統」破壊されました。

信者同士の「合同結婚式」に参加。統一協会の開祖・文鮮明が選んだとされる韓国人の男性と結婚しました。事前に「どんな相手であっても断つてはいけない」と書かれていたといいます。

日本で同居するように行けないなどの縛り文句で信者が献金をさせてくる」と述べ、統一協会の絵画展や宝石屋で物品を販売されたこともあります。

▲さんは「山上徹也容疑者については、統一協会の団体の集会で祝電が届いたと聞いただけですが、『山上徹也容疑者』と口にする」として、「事件に関しては『山上徹也容疑者を擁護する立場では何ひとつない』と口を閉ざす」と語りました。

次のように語りました。

「山上徹也容疑者を擁護する立場では何ひとつない」と口を閉ざす

その行為は決して許されませんが、統一協会に附

わってきた人たちや家族

の苦しみは理解できる

Aさんは「（今も信者

の）母から逃れるため、

一家離散になつた」「統一協会によって人生を破壊された」と舌を擗きました。



創始者 文鮮明・世界平和統一家庭連合

世界平和統一家庭連合の創始者、文鮮明師御夫妻についてご紹介しています。

TOP  
旧統一協会（世界平和統一家庭連合）のホームページ